

海と大地の恵みに満ちた 別海町

べっかい

<http://betsukai.jp/>

別海町観光協会 TEL 0153-74-9018
<http://betsukai-kanko.jp/>

別海町は、乳牛・肉牛を合わせて11万頭を数え、生乳生産量日本一を誇る酪農王国です。また、ラムサール条約登録湿地である野付半島・野付湾・風蓮湖など世界的にも貴重な自然環境に恵まれています。野付湾の風物詩である打瀬舟の光景や牧草が地平線まで広がる雄大な農村風景は多くの人々を魅了しています。

BETSUKAI

A "dairy kingdom" that boasts Japan's largest milk production. The magnificent rural landscape stretching to the horizon is fantastic, and enchants many people.



① 新酪農村展望台

見渡す限りの広い牧草地と、その中でのんびりと草を食むホルスタインの風景は、酪農日本一を誇る別海町の象徴的な風景です。

MAPCODE 496 558 301*77



② 野付半島

野付半島は、潮流によって長い年月をかけ運ばれ、堆積した土砂によって形成されました。根室海峡(オホーツク海)に突き出した形で全長は約26kmにもおよび日本最大の砂嘴(さし)になります。この一帯には、トドワラ、ナラワラ、原生花園など、さまざまな見どころが混在しています。

③ トドワラ・ナラワラ・

野付半島原生花園

海水に浸食されたトドマツ・ミズナラが立ち枯れた光景は、まさに地の果てを想わせる趣です。半島全体、特にネイチャーセンターからトドワラへ続く遊歩道沿いと、野付埼灯台周辺に原生花園があります。6月からセンダイハギ・エゾカンゾウ・ハマナス・ノハナショウブなど色鮮やかな花々が咲き、一面を埋め尽くします。



MAPCODE 941 579 410*55



⑤ 野付湾の水平線

野付半島の内湾、野付湾は、冬になると一面凍りつき、海の上を歩くことができます。1月下旬頃から3月上旬頃にだけ現れる白い世界は、まるで海外のよう。

■野付半島ネイチャーセンター
野付郡別海町野付63番地 Tel.0153-82-1270



MAPCODE 941 663 703*08

⑥ 野付半島の野鳥

野付半島では、今までに約260種類の野鳥たちが確認されています(日本で確認されている鳥の約40%に相当)。カモ・シギ・チドリの仲間が60%を占めます。オジロワシは日本で一部繁殖しており、野付半島でも通年見ることができますが、オオワシは主に冬季に見られる冬鳥として親しまれています。ワシたちは10月頃から集まり始め、最大で400羽ほどが確認される事もあります。また、半島先端部に野鳥観察小屋(ハイド)が設置され、快適に観察ができます。(2016年1月~)



④ 打瀬舟

野付湾内は天然のアマモ(海草)に覆われており、水深は浅いところで1m、深くても5mほどしかありません。このアマモが北海シマエビの生息地となっています。毎年夏と秋の2回にわたって行われる、打瀬舟による北海シマエビ漁は、野付湾の代表的な風景として多くの観光客やカメラマンたちに愛されています。



MAPCODE 941 550 385*63



別海尾岱沼温泉



露天風呂から野付湾を眺め、海辺で遊ぶ海鳥や、打瀬舟のエビ漁風景を楽しむことができる宿もある温泉地です。湯量も豊富です。

別海モール温泉



別海の大地の宝、天然モール温泉です。植物性でまろやかな湯は、天然の保湿成分を多く含み、肌への浸透性が高く血液の循環促進にすぐれ、温まりやすく冷めにくい特徴を持っています。入浴後に肌がすべすべになる「美人の湯」として好評です。



野付クルージング

日本一の砂の半島、野付半島・野付湾を望むクルージングです。野付半島の遊魚区に行き、潮干狩りを楽しめるコース、荒涼とした風景のトドワラまで行くコース、国後島を約8kmの間近に望む外海コースがあります。野付湾では6月頃からゴマフアザラシが観られます。潮の干満によって違いはありますが、浅瀬で休む姿を観光船から間近に観察できます。

運行期間 5月～10月末

■別海町観光船 TEL0153-86-2533



アザラシ



ネイチャーガイドツアー

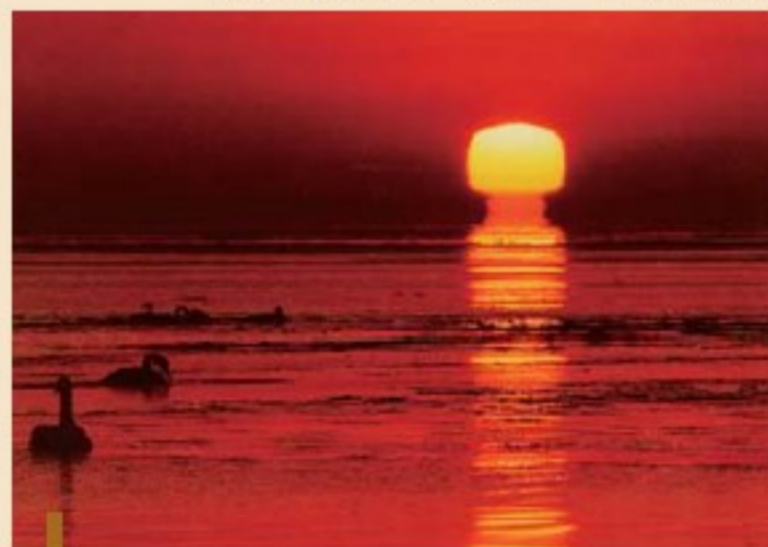
トドワラ・ナラワラ・原生花園などの見どころを、その成り立ちや、動植物について、ガイドさんによる説明を聞きながら回ります。色鮮やかな花々が咲き一面を埋めつくす景観は圧巻です。

■野付半島ネイチャーセンター TEL0153-82-1270

チーズ・バター作り体験

チーズやバター、アイスクリームなどの製造が、プロの技術者の指導により、本格的に体験できます。自分で作ると、おいしさもまた格別です。

■株式会社べつかい乳業興社 乳製品加工研修施設
野付郡別海町別海132-2 TEL0153-75-2160



四角い太陽

蜃気楼の一種で、朝日が変形して見える現象。四角の他、ワイングラス型、つぼ型、だるま型などである。海水温と気温の差が大きい、水平線に雲がない等の条件が揃うと観測でき、寒さの厳しい2月の他、急に冷え込む秋口の10月頃にもみられる。観測場所は道の駅おだいとうなど。



MAPLODE 496 656 067*12

⑦ ヤウシュベツ川河口

ヤウシュベツはアイヌ語で「ヤ・ウシュ・ベツ」-「網曳きの大川」と言い、「網で魚を捕らえる場所」という意味です。通称「土場川」とも呼ばれ、幕末の航路、明治・大正・昭和の中期までは根室等への物資輸送路でした。万年橋から望むヤウシュベツ湿原と川との水面に映された靑空の姿は、まさに絶景です。



MAPLODE 448 418 657*62

⑧ 道の駅おだいとう 別海北方展望塔

国道244号沿い別海町尾岱沼中心街から約3kmに位置し、「白鳥台」に隣接した場所にあります。敷地内には北方領土返還を願い建設された「叫びの像」「別海北方展望塔」があり、展望塔からは野付半島の豊かな自然や国後島が一望できます。

野付郡別海町尾岱沼5番27 TEL0153-86-2449



MAPLODE 496 535 231*22

⑨ 旧奥行白駅通所

国指定史跡/北海道指定有形文化財

平成6(1994)年に北海道指定有形文化財、平成23(2011)年に国指定史跡に指定された旧奥行白駅通所は、明治末期から入植が行われた奥行白地区の交通拠点として、明治43(1910)年10月に開設されました。当時の建築様式をそのままとどめ、別海町に9カ所あった駅通所の中で現存する唯一のもので、野付郡別海町奥行15-12

注目イベント 別海町産業祭



別海町農村広場で開催される秋の味覚と地場産業PRイベントです。酪農・漁業双方の食を堪能できます。お腹がいっぱいになった後は、ばん馬競技をお楽しみください。秋晴れの中での多彩な催しが目白押しです。

■開催時期/9月第3土・日曜日
■開催場所/別海町農村広場

美味特産

別海町は野付湾の海産物と、日本一の生乳生産量が自慢の町です。野付湾で獲れる大ぶりのホタテや、打瀬舟漁で有名な北海シマエビ、徳川幕府に献上されたと伝えられる西別鮭はブランドでもあります。また、生産量日本一の牛乳から、衛生的な環境で丁寧に生産されている乳製品は、どれもクセがなく食べやすい味に仕上げられています。



ホタテ



北海シマエビ



西別鮭



牛乳、乳製品

■JF野付漁協直売センター海紋 TEL0153-86-2061
JF別海漁協直売センター鱒(りん) TEL0153-75-8385

■株式会社べつかい乳業興社 TEL0153-75-2160

ご当地グルメ

別海ホタテバーガー



ふんわりしたパンズの上から豪快にかぶりつくと、パリッとした春巻きの皮に包まれた、ジューシーでアツアツのホタテの旨みが口いっぱいに広がります。冷たい牛乳とも相性バツグンで、別海町に来て本当に良かったと思う逸品です。

■別海町観光協会
TEL0153-74-9018

広大な癒しの大地

中標津町

なかしべつ

<https://www.nakashibetsu.jp/>

一般社団法人 なかしべつ観光協会 TEL 0153-77-9733

<https://www.kaiyoudai.jp/>

中標津町の象徴とも言える標高270mの開陽台から見下ろすと、美しく広がる格子状防風林の先に、330°地球が丸く見える地平線が広がります。そして、開陽台から降りてくると、そこにあるのはどこまでも続くまっすぐな道…。北海道の雄大さを存分に実感できるまちです。また、町内にある仙境・養老牛温泉は温泉マニア憧れのスポットです。

NAKASHIBETSU

In Nakashibetsu, visitors can experience the expansiveness of Hokkaido. Kaiyodai Observatory commands a 330-degree view of the horizon, allowing visitors to feel the full scale of the earth.



① 開陽台

北海道の雄大さを実感できる「地球が丸く見える開陽台」。知床連山から国後島、眼下には根釧台地がはるかに広がり、格子状防風林も見渡せます。

MAPCODE 976 104 327*58



② ミルクロード

「牛乳を出荷するタンクローリーが走る一直線の道」からその名前がついたミルクロードは、中標津町をはじめ、周辺地域に複数存在する道路の総称です。特に中標津町の星座観察ポイントでありライダーの聖地でもある開陽台への道が有名で、なだらかなアップダウンがアクセントになっています。ここを走れば、北海道の雄大さに感動することでしょう。

MAPCODE 429 858 830*76



⑤ 道立ゆめの森公園

MAPCODE 429 806 636*17

敷地は南北約1km、東西に約600m、面積は約54.2haという広大な公園です。広がる牧草地とミドリ川沿いにある豊かな自然林からなり、牧歌的風景をかもしだしています。さらにパークゴルフ場やデイキャンプ場も併設しており、何度訪れても足りないくらいの規模の公園です。

■中標津町北中2番地5 TEL0153-72-0471



③ 裏摩周展望台

全国的に有名な神秘的湖「摩周湖」は、弟子屈町側からのアクセスがスタンダードですが、清里町と中標津町の境にあるこの裏摩周展望台も絶好の眺望ポイントです。弟子屈より標高が低いため比較的霧が少ないと言われており、湖面を望めることができる確率は、こちらの方が高いかもしれません。

MAPCODE 910 038 659*88

④ 養老牛温泉

中標津町の市街地から約27kmの山間に、まるで眠りについているかのような奥深い自然に抱かれた養老牛温泉があります。無色透明の豊富な湯量を誇り、俗化されない温泉として多くのファン的心をつかんでいます。



養老牛温泉

養老牛温泉は、標津川沿いに鄙びた風情の温泉旅館が並んでおり、いずれの宿も川の流れを活かした造りで、せせらぎを耳にくつろぎのひとときを過ごせるよう、露天風呂をはじめさまざまな工夫が施されています。温泉マニアが一度は訪れてみたいと思う、心にじんわりと染みる温泉郷です。

MAPCODE 910 027 393*55



中標津町内の温泉

中標津町の市街地でも温泉に入ることができます。敷地内の池にタンチョウなどの野鳥が訪れる温泉もあり、気軽に楽しむことができます。

■中標津町観光案内所 TEL0153-73-4787



日本列島本土最東端の空港

中標津空港

日本列島本土最東端の空港、そしてエゾマツ、トドマツなどの集成材を使用した日本初の木造建築の空港でもある「中標津空港」。

北海道遺産の格子状防風林と広大な牧草場が織りなす牧歌的な風景のほか、北東から西側にかけて1,000mを超える山々があり、空港からは国後島など北方領土を広い地平線のかなたに一望することができます。

また、空港から市街地までは4kmと至近距離にあり、周辺には摩周湖、屈斜路湖、阿寒湖、そして我が国最後の秘境とうたわれる世界自然遺産の知床国立公園や野付風連道立自然公園などの景勝地があります。



農場・牧場体験

広大な酪農地帯が広がる中標津町の農業を、牧場や農場で実際に体験してみるのはいかがでしょう。ヤギの搾乳体験や、中標津町特産のじゃがいも堀りなど、忘れられない思い出になるはずです。



乗馬体験

町の名所「開陽台」と、周辺の林地・野山を自由に巡るコースなど、車が全く通らない、安心して楽しめるコースがたくさんあります。優しい馬たちと一緒に、自然の中に出かけませんか？



食品加工体験

中標津町は、酪農が盛んな町です。広大な牧草場でのんびり暮らす牛たちがもたらすおいしい牛乳は、飲用の他おいしい乳製品の元になります。ここ、中標津町畜産食品加工研修センターでは、そんな乳製品の製造体験やソーセージ作りなど、町の恵みをよりおいしく加工して、味わうことができます。

■中標津町畜産食品加工研修センター
標津郡中標津町計板別281 TEL0153-78-2216

注目イベント なかしべつ夏祭り



中標津町の夏最大の祭り、日本一と言われる約6,000個の提灯が見ものです。この提灯は料金を払えば、誰でも名前入りのものを作ることができます。中標津音頭踊りのパレードや仮装盆踊り大会、大平原花火大会もお楽しみのひとつです。

■開催時期/8月第2土・日曜日
■開催場所/中標津町総合文化会館しるべつと広場



6 荒川版画美術館

古いサイロを再利用した外観が特徴的な荒川版画美術館は、中標津町ゆかりの木版画家である松本五郎氏、中標津町在住の細見浩氏、故根本茂男氏の版画作品が展示されています。

標津郡中標津町侯落2000-8 TEL0153-73-7151



7 中標津町郷土館 (本館)

丸山公園内にある郷土館です。数万点を超える収蔵資料のうち、考古資料をはじめ、先人の労苦を物語る開拓資料や生活・産業関係1,500点程が展示されています。

標津郡中標津町丸山2-15 TEL0153-72-2190



8 中標津町郷土館緑ヶ丘分館 (旧北海道農事試験場根室支場陳列館)

昭和3(1928)年、旧北海道農事試験場根室支場の付随施設として建設されました。解体が計画されましたが、工法に特徴があったことから現在地へ移築復元し、昭和58(1983)年に農業資料の展示を主とした展示施設として開館しました。平成21(2009)年8月7日、国の登録有形文化財として登録されました。

標津郡中標津町丸山4-3 TEL0153-72-2190

9 北村家住宅主屋 (旧土田旅館)

北海道駅通制度としての歴史を伝える遺構であり、中標津町でも最古の建造物のひとつです。

標津郡中標津町武佐957-6

※この建物は個人の所有ですので、一般公開は行っていません。生活に支障をきたす場合がありますので、相談無しでの訪問はご遠慮ください。



美味特産



標津羊羹

北海道の雄大な大地から収穫された金時豆・ビート糖を主原料に創業の昭和2年以來変わらぬ製法で丹念に練り上げられた道東銘菓です。甘さを抑えたソフトな口当たりで誰もが馴染みやすい味です。

■標津羊羹本舗 TEL0153-73-2484



AFくらぶ

中標津の大自然の中で育まれた新鮮な生乳と豚肉牛肉を原材料として加工した乳製品・肉製品です。

■AFくらぶ TEL0153-78-2216



シレットドーナツ

揚げない、ふわふわした食感の「焼きドーナツ」です。中標津町の新鮮な牛乳と開陽台で採蜜したハチミツ、そして「知床のしお生キャラメル」が隠し味の、こだわりのドーナツです。



ジェラートシレットコ

地元中標津町の新鮮ミルクを使った、素材の味がしっかりと感じられる大人気の絶品ジェラートです。

■シレットコファクトリー TEL0153-73-2110

中標津産じゃがいも

中標津町には町内にしか出回らない、伯爵、ムサマルなどの品種のじゃがいもがあります。伯爵は男爵イモに比べ、やや扁平で色白の肌が美しい粉質のほくほくジャガイモです。ムサマルは芽が浅く、肉色は淡黄で「ごろん」とした卵形が特徴です。

■なかしべつマリンスファーム TEL0153-73-4302



ラ・レトリ なかしべつ



「自然の味そのままをお届けしたい」。このコンセプトで作られた「のむヨーグルト」などの乳製品は、中標津町の新鮮な牛乳100%のコクと風味が生きており、多くのファンがいます。また、空港からすぐにある赤い屋根がかわいい店舗では、地場産ソーセージの「ホットドッグ」などの軽食を取ることでもできます。また、ジェラートやソフトクリームも見逃せない味わいです。

標津郡中標津町北中9-17
TEL0153-72-0777